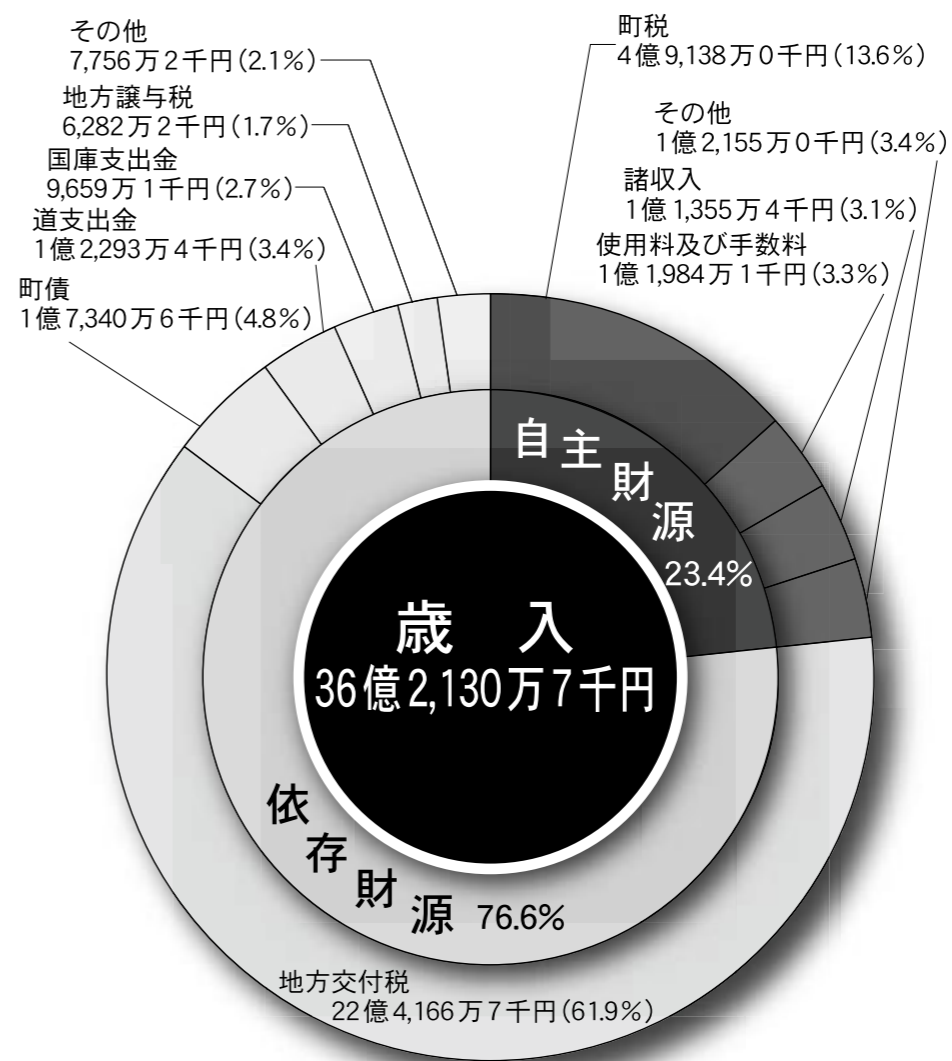


決算報告

みなさんが納めた税金や国・道からの補助金は、福祉や教育の充実、道路や下水道の整備など、さまざまな形で暮らしやまちづくりに使われています。9月町議会定例会で平成20年度決算が認定されましたので、報告いたします。



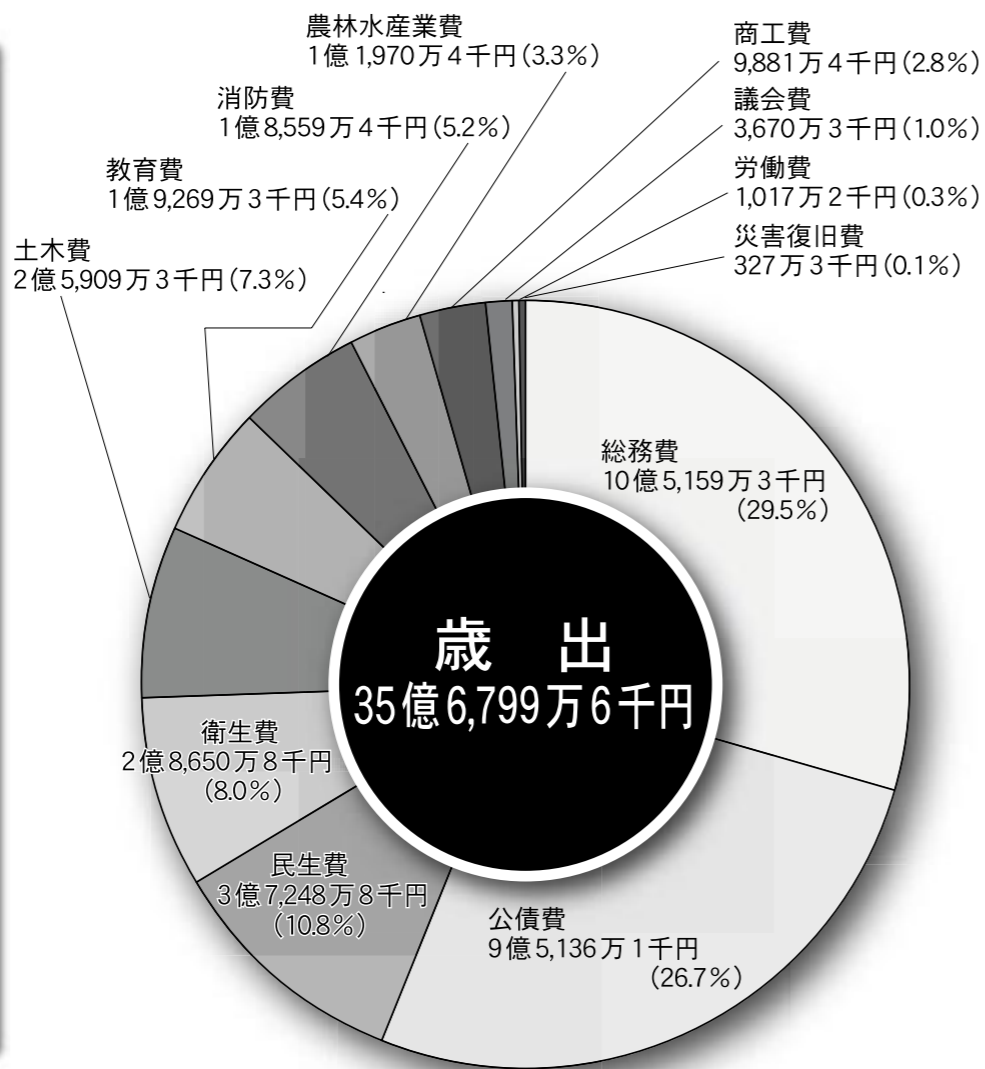
町民1人当たりの歳入額 67万6千円
1世帯当たりの歳入額 156万0千円

一般会計

一般会計は、福祉の増進や教育の振興、まちづくりなど、町政の基本となる会計です。平成20年度決算は対前年度比で歳入が0.4%、歳出では0.9%とそれぞれ減少し、特別職や一般職員の人件費、施設の維持管理費、各種団体への補助金などの経常的な経費については、前年度に引き続き削減するなどの行財政改革に取り組み、平成20年度も基金を取り崩すことなく財政運営を行うことができました。

特別会計

保険料や使用料など特定の収入をもとに特定の事業を行う場合は、収入と支出がはつきり分る。なお、歳入歳出の差引で約9670万円の剰余金が生じ、690万円を財政調整基金に、3500万円を減債基金にそれぞれ積み立て、5331万円を翌年度へ繰り越しました。



町民1人当たりの歳出額 66万6千円
1世帯当たりの歳出額 153万7千円

水道事業会計

水道事業は公営企業として別に会計を設けています。決算は表2のとおりです。

なお、国民健康保険事業は平成19年度末で約1700万円の累積赤字を抱えていましたが、平成20年度に大幅な黒字決算することができ、過去最大2億7000万円余りあった累積赤字が解消されました。

水道事業は公営企業として別に会計を設けています。決算は表2のとおりです。

表1

税目	金額	前年比
町民税	2億4,092万8千円	1,867万円
固定資産税	1億7,926万2千円	130万円
軽自動車税	959万1千円	4万円
たばこ税	4,159万9千円	▲318万円

- 公債費
町債を返済するための経費
- 土木費
町道の新設や改良、舗装補修、公営住宅管理などにかかる経費
- 民生費
老人福祉、障害者福祉、保育園の運営などにかかる経費
- 衛生費
ごみ処理事業や各種検診、医療対策にかかる経費
- 教育費
幼稚園、小中学校、生涯学習振興などにかかる経費
- 総務費
庁舎維持管理や自治振興対策、交通安全対策などにかかる経費
- 消防費
日高東部消防組合に対する負担金や防災対策などにかかる経費
- 農林水産業費
農業・林業・漁業など第1次産業の振興にかかる経費
- 商工費
商工業や観光振興などにかかる経費
- 議会費・労働費他
議会運営、労働者などへの融資、災害復旧などにかかる経費

表2

会計区分	項目	歳入	歳出
一般会計		36億2,131万円	35億6,799万円
特別会計	介護保険	3億6,369万円	3億5,831万円
	国民健康保険事業	7億6,272万円	7億0,360万円
	後期高齢者医療	6,086万円	6,086万円
	老人保健	8,448万円	8,448万円
	下水道事業	2億7,804万円	2億7,665万円
合計		51億7,110万円	50億5,189万円
企業会計	収支的収支	1億3,076万円	1億2,784万円
水道事業	資本的収支	0円	5,406万円

※水道事業資本的収支の差引額▲5,406万円の不足分は損益勘定内部留保資金で補てんします。